新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三二〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

日本牽制を目的に 蘇支の諒解成る
仲介者は國民黨領袖陳果夫
國境兵備の正体判明

【上海廿三日發國通】ソ聯と支那との間に或種の協定乃至諒解が何等かの形で存在する事は國民政府の否認にも拘らず消息通の間では最早や隱れなき事實とされてゐたが果然國民黨とソ聯政府との間に陳果夫氏が指導者となり一つの諒解が成立してゐる事が明かとなり一般に衝動を興へてゐる、即ち陳氏は汪一派の微溫的對日方針に慊らず日本の對支工作を牽制する爲にはソ聯と提携するより外なしとし本年六月始め密かに代表某をソ聯の外蒙代表タロイフ氏の下に派しソ支提携意見を披瀝せしめソ聯中央當局への斡旋を依賴した結果交渉は急速に進展、遂に左の如き諒解の成立を見代表某は三ケ月を費してその目的を果して最近歸國したものである、成立せる諒解の內容は

△ソ聯側
一、ソ側政府は國民黨との合作を承認し
二、日本の對支工作を牽制する爲滿ソ國境に充分兵力を配備する
三、必要なる場合可能なる範圍に於て凡ゆる援助を爲す

△支那側
一、國民黨は支那共產軍の四川、甘肅通過を默認し外蒙のソ聯との連絡を妨害せぬ
二、國民黨は國內に親ソ空氣を釀成する樣情勢の誘導に努力する

と云ふのである

縣廳引渡しを要求する 香河縣農民暴動
縣民自治、課稅輕減負擔を要求

【天津廿二日發國通】既報、香河縣に勃發した暴動に關し廿二日午後七時半當地陸軍武官室は記者團に對し左の如く語つた

十九日午後武玉亭をリーダーとする千數百の農民が縣民自治と課稅負擔輕減を叫んで香河縣廳に押掛け「孫文の建國大綱によれば軍政時代は過ぎて今や訓政の時代である」と述べ縣廳の引渡しを要求し一時縣廳を占據したが保安隊の爲驅逐され目下城外にて保安隊と對峙中である

一方民衆中に日本人ありとの支那側の報に日本側は廿一日朝大木中尉を派し六名の日本人を通行歸平せしめたが取調べの結果右に關係ないこと明かとなつた、尚香河事件に就て某消息通は語る

右は單なる民衆の政治運動であるから若し武力を持たない民衆側に對し武力彈壓を爲す如きことあらば河北全民衆の憤激を買つて事態は益々惡化する懸念がある

戰區及近接地に 支那側の兵力使用を許さず
皇軍は嚴重監視へ

【天津廿三日發國通】河北省農民自治運動に就ては支那駐屯軍司令部に於て飽く迄嚴重監視、不干渉の立場を堅持してゐるが運動は戰區內各地に波及する惧あり戰區內の治安維持に就ては深甚な關心を示してゐる、農民運動に關する皇軍の方針は次の通りである

一、皇軍は多田司令官の聲明大連會議の申合せで明かな如く支那人自身の運動に就ては一切介入せず、今回の自治運動が支那人自身の運動に局限される限り監視しつゝ何等干渉しない
一、然し今回の運動には相當根强き背景と準備とが存し運動は戰區內各縣に波及する惧あり、戰區內の治安維持に就ては皇軍は萬全の措置を講ずるであらう
一、今回の運動に就き河北政府主席商震氏が武力解決の擧に出れば戰區內の治安維持に就き皇軍と商震軍とはデリケートな關係に立つに至り皇軍としては場合により戰區內は勿論近接地區の兵力使用を斷乎拒否せざるを得なくならう

"國民黨を打倒し 現官吏を罷免せよ"
香河縣民自治宣言を發表

【天津廿三日發國通】自治農民團は廿二日香河縣城を乘取ると共に元北平總商會長安厚齋を臨時縣長に推し要旨左の宣言を發表した

一、河北省民は國民黨の打倒、現官吏の罷免を要求する
一、孫文の建國大綱に基き地方自治の確立、農民の救濟を要求する

支那兵の出動は 停戰協定違反

【北平廿三日發國通】香河、昌平等の非武裝地帶境に勃發した民衆運動に對し河北省政府は之が鎭壓の爲出兵する事となれば必然的に非武裝地帶に兵を進める關係上停戰協定は破らるゝ事となり憂慮されて居る

農民の自治運動 漸次河北一帶に波及

【北平廿三日發國通】香河縣城事件に端を發した河北自治運動は漸次河北全省に波及する形勢を示し昌平縣の外遵化其他にも同樣の運動が起る懸念濃厚となつた、今回の自治運動は單なる農民一揆に非ず共通の標語として孫文の建國大綱による地方政治の改革を主張してをり農民層を代表する政治運動である事が注目されてゐる

昌平一帶の農民 自治を要求して縣當局と對峙

【北平廿三日發國通】河北自治請願團の香河縣廳襲擊事件は廿二日午前に至り請願團二千名が縣城に入り農民首領武玉亭が保安團長と協議、治安維持會を組織し元北平總商會長安厚齋氏を縣長代理に推擧するに決定して漸く平靜に歸したが北平北方昌平一帶にも農民團が蹶起廿一日來縣當局と對峙狀態に入つた

日華貿易協會々則

【東京國通】既報の如く日華貿易協會は日華實業協會を合證によつて强力な日支提携機關たることとなり各方面より注視されてゐるが日華貿易協會會則は左の如し

一、名稱 日本に於ては日華貿易協會と稱し中國にては中日貿易協會と稱す
一、本部 東京及び上海に本部を置く
一、正副會長 各本部に各會長一名、副會長二名を置き常務理事より互選す 日本本部會長は日本人、中國本部會長は中國人とし各本部副會長の內一名は日本人、一名は民國人とす
一、理事 各本部に各二十五名內外を置き（會員總會で選擧す）理事中より互選に依り七以內の常務理事を置く
一、總會 每年一回總會を日本又は民國に於て交互に開催、總會の時期及び地點は兩國理事會協議の結果決するものとす

軍縮會議に 伊太利參加か

【ローマ廿二日發國通】イタリー政府は英國政府より正式招請に接し大海軍縮小本會議に欣然參加する方針と解される、更に英國政府が會議席上……質的制限案を提示する場合伊國政府は一九三四年十月起工した三萬五千噸級主力艦二隻の完成を條件として同意する意向と見らる

井上子一行 神戸出帆

【神戸國通】上海に開かれる東洋工業會議出席の日本首席代表井上匡四郎子爵以下一行十七名は廿三日午前十時神戸出帆の長崎丸で上海に向つたが出發に當り大要左のステートメントを發した

今回の工業會議開催の目的は日本の躍進工業の全貌を支那に紹介すること及び日本製品の企劃統一の爲、日支提携を圖る事等で勿論一回の會合のみでは目的を達し難いと思ふが今後共斯かる會議を開催所期の目的を貫徹し度い、尚今回の渡支は政治的意味は全然ない

八分配當維持の見透し 五億圓社債發行へ
―滿鐵資金五ケ年計劃成る―

【大連國通】滿鐵資金五ケ年計劃は經理部擔當佐々木理事の手許に於て整理の後豫算重役會議に附議した結果社議として決定を見るに至つた、右の計劃に依れば滿鐵の十一年度以降五ケ年間の資金需要は改良費一億五千萬圓、昭和十三年度を以て一段落を告げる新線建設費約一億三千萬圓の外北支投資、國策的新事業への投資等合計五億と豫定し之に對する資金は十一年度以降に於ける株式拂込み金七千二百萬圓、社債發行額九千三百萬圓、計一億六千五百萬圓あり この外政府のみの拂込み株式一億四千三百萬圓があるが之は拂込みを期待し難いため十一年度中に社債發行限度の確定を行ひ拂込金額の二倍即ち約十三億圓として社債發行餘力を約五億とし專ら再發行によつてこの資金需要を充さんとするものである、一方社內に於ては五ケ年間社內事業の緊縮方針を以て進み五ケ年間八分配當を維持し得る見透しをつけてこの計劃を樹立したものである

現物不足が原因で 大連大豆市場混亂
華商二軒休業破產狀態へ

【大連國通】大連市場に於る大豆相場は現品不足と出廻り不圓滑の爲受渡しに支障を生じ勝ちで直渡しものと二週間ものとの値開きは廿一日の如きは七十錢となり、從來曾て見ざる奇現象を呈し成行を憂慮されてゐたが、現物八十車の賣玉を擁する建成興は遂に受渡し不能に陷つたので、關係當事者に於て善後處置を協議の結果、差當り本日は現物最高值五圓四十錢、一週間もの五圓三十錢二週間もの五圓二十錢の門相場を示して取引を行つた、右建成興は定期は既に手仕舞として事なきを得たもので問題は唯現物の受渡しであるが、これとても甚だしき大事に至らずして收拾されるものと見られてゐるが、整理の都合上一時休業する事になつた、尚斯かる事態が一般に波及するを惧れ取引所當事者は現物取引の監督を一層嚴重にし現物と二週間ものの値開きを最小限度に喰止め取引を圓滑ならしむる事となつた

大連特產市場 昨日も動搖收まらず

【大連國通】現物受渡し不能から賣方たる建成興、同興祥二店の破產問題を惹起大連特產市場未曾有の大事件として一大衝動を與へてゐたが右二店に對する處置の具體案は發見に至らず昨日の如き市場人氣は更に動搖して取引出來ず立會不能の狀態に陷つたが大連取引所に於ては差當り取引の混亂を防ぐため左の告示を爲した

告示
本日は左の相場以上の高値の大豆取引は之を場帳に登錄せず
先物 十月限 五圓二十錢
現物 二週間物 五圓十錢
直渡し物 五圓三十錢

大連鈔票市場 百廿圓割る

【大連國通】特產金建說、日滿通貨統制問題等の擡頭により不安人氣に襲はれてゐた大連鈔票市場は二十二日歇阿の險惡なる空氣も幾分緩和されたる折柄上海市場に於る通貨不安による標金相場の續騰に拍車を懸けられ人氣一段と惡化し市場は各方面からの賣物殺倒し百二十圓の大關門を離れて高値百二十二圓四十五錢から安値百十八圓八十五錢まで一氣に大弗落を演じ不安人氣愈々濃厚となつた、尚出來高も八百萬圓の多量に上つた

五時間餘に亘つて 現物問題前後措置協議
―大連金建問題懇談會―

【大連國通】特產金圓建問題に關する懇談會は豫定通り廿二日午後五時よりヤマトホテルに於て日本商特產取引人及び信託會社、重要物產組合の代表者が參集して開催されたが、偶々惹起した華商の現物大豆受渡し不能による休業問題が重大化し既報の建成興、同興祥の現物大豆受渡し不能問題を加へこの儘に推移するに於ては更に第二第三の犧牲者を發生し、收拾し難き惡結果を招く虞れありとなし、金建問題懇談會は本題目に入らず徐々に研究する事とし當面の現物問題の善後處置につき協議する所あつた而して右華商の破產は大連取引所始まつて以來の大事件で現物問題は引いて定期取引にも累を及ぼすは必然なりとして愼重對策を練つたが、具體的方法發見に至らず廿三日改めて華商側と會合の上妥當なる方策を取るに決し定期大豆取引に對しては差當り廿二日後場より新規賣買一車每に賣方買方双方より銀百圓の增證據金を徵收し取引の混亂を防ぐ事とし五時間餘の討議の後會議を閉じた因に今回の不祥事件は京濱線貨車繰りの極端な不圓滑か最大要因である事は覆ひ難いが他方現物取引規定の不滿も大なる原因であるので取引人側としては國鐵に對し貨車繰りの不圓滑の緩和方を要求すると共に現品取引方法の改善に着手する事に議事一決したもの丶如くである

混保大豆出庫期間 一二日短縮へ
大豆品薄緩和の爲め

【大連國通】大連特產市場に於る今回の大豆現物受渡し不能の最大原因である品薄を緩和する爲め廿三日午前滿洲重要物產組合、大連取引所重要物產取引人組合、大連油房聯合會の三團體代表は打揃つて滿鐵々道部に江崎貨物課長を訪問し混保大豆の出庫猶豫期間を二日短縮『南滿物七日を五日に、北滿物十一日を九日に』改め方を要望したるに滿鐵當局は勿論應諾、廿三日より實施に決定した

本田大佐離滬

【上海廿二日發國通】打合せを終つた海軍軍令部本田課長は今日巡洋艦龍田に便乘臺灣馬公に向け午後一時離滬した

三角地帶の 赫健東匪 中代部隊に歸順

【奉天國通】匪首赫健東以下三十一名は中代討伐隊大李家房子本部に來り小銃十九、拳銃八、彈藥三千五百十五發を提出歸順を申出でたので中代隊長はその意を諒とし直ちにその手續きをとつた、尚同匪は任福瑞匪と連絡あり安奉線及び三角地帶を中心に暴虐を續けてゐたものである

日英協會 秋期例會

【東京國通】日英協會では廿二日午後七時半から帝國ホテルに高松宮、同妃兩殿下の台臨を仰ぎ松本大使夫妻、先頃來朝した滿洲初代商務官ロイド氏、目下横濱入港中の英國支那艦隊ドーセットシヤ號艦長エルモリ大佐の歡迎を兼ねて秋期例會を催うした、此夜高松宮、同妃兩殿下には會長クライブ英大使、會員百二十名奉迎裡に午後七時三十五分御着、直ちに盛大な晩餐會が催され英國艦隊軍樂隊の君ケ代の奏樂裡に一同起立、クライブ大使か乾杯、天皇、皇后兩陛下の萬歳を壽ぎ奉り、次で英國々歌の奏樂裡に高松宮殿下御乾杯、英國皇室の萬歳を祝せられ、終つて歡談の中に日英親善の一夜を終り十時散會した

多田司令官 唐山、山海關へ

【天津廿三日發國通】多田司令官は管下部隊檢閱の爲神保副官を帶同の上廿三日午後十一時五十五分發列車で唐山、山海關に赴く事となつた、廿五日歸津の豫定である

守島課長靑島着

【靑島廿三日發國通】守島東亞局第一課長は廿三日午前十一時上海より當地着、田尻領事、當地官民有力者多數に迎へられ直ちに總領事館に入つた、廿五日開かれる天津總領事會議に出席すべく今夕或は明朝濟南經由天津に向ふ筈である

淵脇巖氏 近日赴任

滿鐵地方事務所より天津に榮轉した淵脇巖氏は廿三日大連へ赴き本社と打合せの上、一旦歸京、近日赴任の豫定

航空往來

▲黑岩政雄氏（新京淸水組）二十三日午前發ハルビンへ
▲横尾政次氏（同）同
▲井口淸高氏（大連）同
▲松田芳三氏（朝鮮銀行理事）同チ、ハルへ
▲本田兵一氏 同ハルビンより
▲花岡喜八郎氏（新京芳信公司）同
▲桑山茂一郎氏（木材業）同發ハルビンより
▲桑山淸氏（同）同
▲吉賀辰雄氏（ハルビン）同
▲阪東敏夫氏（吉林）同午後奉天より
▲古閑正武氏（司法部總務司長）同

信語

例の國体明徵問題も政府の再聲明でどうにかお茶は濁したもの丶、まだ／＼「明徵」とまでには至らぬ様子▼事いやしくも國體に關する問題であるあいまいた處置は絕對にゆるさないといふのが、長勇會などの意嚮で、中央の空氣はいざ知らず、わが在滿同胞にはかうした强硬意見を持するものが相當多い▼尤もこの問題をもつて倒閣の具に供するとはむろん識者の與せないところであらうが、しかし政府の不徹底な處置に對しては飽くまで糺彈するがよく▼その成行き次第では內閣の瓦壞もまた止むを得ぬ場合も生ずるであらう、この際永久に禍根を絕つことである▲防空獻金も漸く十萬圓を突破した市民の防空熱も次第に高まりつゝあることは何よりだが、しかしまだ豫定額には半分にも足りない▼貧者の一燈まことに淚ぐましいが、それよりももつと／＼大口の申込が續々現はれて來やうことが、心ひそかに待たれる▲どうか附屬地內の會社銀行にも中銀並みに五萬圓とはいはない、たとひ一萬圓でもよい、ぽんと差出す勇者はないものか

社説

甘肅に入つた共産軍 西北路線と一省先取その他

一

去る七月中旬以來、四川西北部に移動しつゝあつた朱毛徐向前等の共産軍は四川北部並に甘肅方面に新ソヴエートを建設すべく行動を開始し、悠々北進して七月下旬には目指す甘肅省侵入を實現した。蔣介石の統卒する諸軍はこれに對して概ね戰意なく四川軍閥の率ゐる土着軍の如きはややもすれば中央軍に反抗せんとの氣勢すら示した。一方に陝西の北部及び中部に在つた徐海東等の共産軍がこれまた甘肅方面に移動しはじめ、こゝにいはゆるコミンテルンの西北路線の實現が豫見せらるゝに至つた。若しこの西北路線にして實現を見るならば、蔣介石が膠を大にして提唱し來つた西北開發計畫は水泡に歸しなければならぬ。

二

甘肅に侵入した共産軍は何處に行くであらうか？　そして又その將來の目的は何處にあるであらうか？　推測は大体次のやうに下すことが出來る。

一、甘肅省南部に定着し新ソヴエート區の建設に當る

二、綏遠、寧夏、陝西、甘肅四川をつなぐ所謂西北路線の完成を目指す

三、青海を經て新疆省南部に侵入する

右の推測は陝西より侵入した共産軍についても同樣のことが言へる。

三

思ふに、支那共産軍の動靜を觀察する上に於いては、その背後に動くコミンテルンの手を常に忘れてはならないであらう。何故ならば、共産軍の行動はつねに中國共産黨の動向と密接な關聯を持つて居りその背後にはコミンテルンとの連絡があるからである。

斯くていまわれわれは、曾つて中華ソヴエート臨時中央政府が決議した「一省乃至數省の先取的勝利」といふスローガンを想起する。それは、ソヴエート政權の影響を全支那に徹底せしめるといふ目的のもとに、敢へてソヴエート區の建設そのものには重點を置かず、全國赤化への過渡期として高唱されたのであつたこゝに於いて大都市或ひは數縣の未破戰術が採用され、一地點の長期間占領を主眼とせず風の如く來り風の如く去る、しかもその間に大衆を惹きつける手段として被壓迫階級に善政を布くといふ方法を取つた。「一省乃至數省の先取的勝利」それは國民政府の大童べになつての宣傳にも拘らず實現の可能性を暗示してゐる、しかもコミンテルンの狙ひが、單なる一省乃至數省の赤化にのみとどまるものでないことは言はずとも明らかである。共産軍は何處へ行く、その前に、われらは國民政府は何處へ行くと問はねばならない。

査定案確定前に 軍部の態度表明
＝陸相閣議で説明＝

【東京國通】廿二日の定例閣議席上での高橋藏相の豫算説明に關し陸軍では明年度は約六億四百萬圓を最低限とし其貫徹を期する方針で大藏側が飽く迄財源難を理由に之を阻止せんとせば林陸相時代より研究し來つた資料により財源問題に論及せんとする方針の如ぐ川島陸相は査定案の確定前に高橋藏相を訪問し軍部の態度を表明し高橋藏相の積極的善處を要望の筈で、政府當局は豫算閣議での政治的折衝で之を解決せんとする意向であるが陸軍では他と異り作戰用兵と兵力量との關係で參謀本部と教育關係で協議する必要があるので大臣一個人の見解で政治的解決をなし得ぬから陸軍省參謀本部、教育總監部三者間の協議を基礎とし川島陸相の閣議での折衝と事務當局間折衝との併行により解決の方針である、川島陸相は廿二日の閣議で此點に關し諒解を求めたものである

總局本年度收入 累計四千餘萬圓
圓滑なる進展を示す

【奉天國通】愈々特産出廻り期に入り國鐵全線は本格的活動に入らんとしてゐるが十月上旬に於る鐵路總局線貨、客輸送收入は（單位圓）

一、旅客收入　六九九、六六九
一、貨物收入　一、八三六、七三四（輸送高七三萬七〇九噸）
一、食堂車其他收入　一七、一四四
一、自動車收入　五五、五四三

で本年度收入累計は四千八萬八千二百八圓となり國鐵營業の圓滑なる進展を示してゐる

國幣バーで仲買人困惑 取引所一部變革か

國幣金票バー出現は諸種の利便を與へてはゐるが、一方には錢莊の倒産其他の困惑をも生ぜしめてゐる、殊に取引所に於ける國幣取引は若干の對鈔票取引を除いては全く休止狀態に陥りこれがため所屬仲買人の死活問題となるに至つた、このうち奉天取引所に於いては所屬仲買人一同、監督官廳たる關東局並びに財政部に對して救濟轉業資金の貸付、國幣上場中止に代への銀塊上場、一都市一取引所主義による滿洲取引所との合併實現等の案を樹て接衡中である、これについては日滿兩國政府の貨幣政策に伴ひ多分轉業資金貸付、取引所廢止乃至合体へ進むものと見られてゐる

國鐵三十二驛に 保管倉庫設置

かねてより鐵路總局に於いて地方物資の集散を圓滑にし又荷主の利便を圖るために準備中であつた國鐵全線主要驛に於ける保管倉庫設置はその施設完成を見たので關東軍交通監督部の認可を得た上來る十一月一日より一齊に營業を開始することになつた、倉庫營業驛はすべてで三十二ケ所、基準料金は一日一トン國幣二仙八厘、保管一ケ月以上の特産物に對しては基準料金の半額以上の割引を行ふことになつてゐる

南洋島嶼の移動觀測に
宮地技師一行出發

【東京國通】今から廿餘年前ドイツのウエゲナー博士が大陸移動說を發表して學界に衝動を與へて以來世界最古の海洋と謂はれる太平洋の島嶼が動いてゐるか否かの測定は世界學界の 望するところであつたが、日本學術振興會では廿年前の大正四年我海軍水路部の手によつて南洋諸島の一測定を行つた記錄があるのを絶好の資料として東京天文臺技師宮地政司氏を南洋諸島に派遣此劃期的移動觀測に乘出すこととなり同氏は助手加藤秀雄氏と人夫一人を同伴廿五日横濱丸で横濱出帆約二ケ月の豫定でヤルート、サイパン

警察官吏 教養規定
二十一日制定

民政部は二十一日警察官吏教養規程を左の通り制定した

第一條　警察官吏の教養は別に規程あるものの外本令に依り之を行ふへし

第二條　教養は品性の陶冶、警察精身の涵養、職務上必要なる智能の啓發及心身の鍛錬を以て目的とす

第三條　教養は毎日一時間以上學科又は術科の講習を爲すものとす
警察官署以外に在りて勤務する者に對しては點檢其他の爲召集したる場合の外監督の任にある者をして之を行はしむへし

第四條　教養科目概ね左の如し
一學科　法規、普通學、語學、實務講習、修養講話
二術科　操練、武術、馬術、施繩法、體操
三前各號の外必要と認むる事項

第五條　學科目は警察に關する實用を旨とし各階級に應し職務上最も適切なるものを選擇すへし
術科は職務上必要なる術技に慣熟せしめ兼て精身鍛錬に資し且體力の養成に努むへし

第六條　教養を擔任せしむる爲首都警察廳、哈爾濱警察廳、特殊警察隊、警察廳、縣公署警務局、警察署、警察隊に教養主任及教養擔當者を定め必要あるときは別に講師を囑託することを得

第七條　本令に依り二箇年以上教養を受け成績優良なる者に對しては教養科目の一部を省略することを得

第八條　省長、北滿特別區長官、首都警察總監、哈爾濱警察廳長、特殊警察隊長は部下警察官吏の教養實施狀況を監査し毎年二月末日迄に前年度に於ける其の概況を民政部大臣に報告すへし

第九條　本令施行に關し必要なる事項は省長、北滿特別區長官、首都警察總監、哈爾濱警廳長、特殊警察隊長之を定む

附則

本令は康德二年十月廿一日より之を施行す

日本學術協會 第十一回大會
金澤市を中心に開催

【金澤國通】日滿支三國の官學の權威を集めた日本學術協會第十一回大會は廿二日より五日間に亘り金澤市を中心として開かれた、廿二日は午前九時第四高等學校講堂に於て開會式を擧行第二回日本學術協會賞の授與式を行ひ、次で第十二回大會は岡山に於て開催する事に決議を見、十年度役員選擧等を行ひ午後は東北帝大山田博士、北海道帝大教授小熊理學博士、東京帝大總長長與博士等の特別講演があつて散會、夜は金澤市長の招待會に臨んだ、第二日、第三日は學術講演、第四第五兩日は石川富山、福井各縣下史跡等を見學の筈である

內審第六回總會 大演習前に開會か
＝諮問第二、第三號を審議＝

【東京國通】內閣審議會では二十二日第五回總會を開き諮問第一號に對する中間報告案を可決し直ちに政府に對し答申の手續きを執つたが、更に大演習前に第六回總會を開き諮問第二號文教刷新に關する方策並に第三號國民經濟振興に關する方策を政府より諮問することになる模様である、尙廿二日の總會で可決された地方財政調整交付金制度に就ては內務省より來年度豫算に計上要求してある地方財政調整交付金案を基礎として具體案を考究することにならう

二十二日公布の 中央卸賣市場法施行細則（中）

第八條　開設者は左に揭くる事項に付實業部大臣の認可を受くへし
一　中央卸賣市場の役員の選任及解任
二　中央卸賣市場の收支の豫算
三　豫算に定めたるものの外新に義務を負ひ又は權利を失ふへき行爲
四　中央卸賣市場財産の保管方法
前項の役員選任認可申請書には履歷書を添附し、收支豫算認可申請書は事業年度開始の一月前迄に之を實業部大臣に提出すへし

第九條　左の各號の一に該當する者は中央卸賣市場法第九條の規定に依る卸賣の業務を爲す者となることを得す
一　一年以上の有期徒刑に處せられたる者にして刑の執行を終り又は刑の執行の免除を得たる日より三年を經過せさる者
二　中央卸賣市場法第十八條の規定に依り業務許可の取消を受け取消の日より三年を經過せさる者
三　破産の宣告を受け復權せさる者
四　前四號の一に該當する者を役員とする法人
五　信用薄弱なる者
六　中央卸賣市場法第八條の規定に依り損失の補償を受けたる者但し特別の事情ありと認むる者は之を除く
七　社員、株主又は組合員中央卸賣市場法第八條の規定に依り損失の補償を受けたる法人但し特別の事情ありと認むる者は之を除く

第十條　開設者は業務規程を以て卸賣の業務を爲す者の員數を制限することを得

第十一條　卸賣の業務の許可を受けむとする者は其の申請書に法人に在りては登記簿謄本、定款又は之に準すへきもの、貸款對照表、財産目錄、社員、株主又は組合員の名簿及役員の履歷書を、其の他のものに在りては履歷書及資産調書を添附し開設者を經由して之を實業部大臣に提出すへし
開設者は前項の申請書に意見書を添附すへし

第十二條　卸賣の業務を爲す者第九條第一號若は第三號に該當するに至りたるときは業務許可は其效力を失ふ
卸賣の業務を爲す者第九條第四號乃至第七號の一に該當するに至りたるとき卸賣の業務の許可を受けたる日より一月內に保證金を納付せす若は二月內に其の業務を開始せさるとき又は正當の事由なくして引續き一月以上其の業務を休止したるときは實業部大臣は其の業務許可を取消すことあるへし

第十三條　中央卸賣市場法第十條の規定に依る保證金の額は取扱品目の部類毎に千圓以上二萬圓以下の範圍に於て業務規程を以て之を定むへし但し特別の事由ある者に付ては實業部大臣は別段の額を指定することあるへし

第十四條　保證金は開設者の定むる所に依り有價證券を以て之に代用することを得
開設者たる中央卸賣市場法第一條の法人保證金を受取りたるときは遲滯なく之を供託すへし
實業部大臣必要と認むるときは前項の有價證券の種類又は其の代用價格を變更せしむることあるへし

第十五條　卸賣の業務を爲す者は業務規程を以て定むる場合を除くの外自己の計算を以て取扱物品の卸賣を爲すことを得す

第十六條　卸賣の業務を爲す者は市場內にある物品に非されは其の卸賣を爲すことを得す但し當該指定區域內に於て開設者の指定する場所に在る物品に付ては此の限に在らす

第十七條　卸賣の業務を爲す者は業務規程を以て定むる手數料を除くの外如何なる名義を以てするを問はす其の業務に關し報償を受くることを得す

第十八條　卸賣の業務を爲す者に業務規程を以て定むる場合を除くの外其の業務を行ふ市場に於て自己の取扱品目の部類に屬する物品の賣買に參加することを得す

第十九條　卸賣の業務を爲す者は受託契約に關する準則を定め開設者の承認を受くへし之を變更せむとするとき亦同し
開設者前項の承認を爲したるときは其の準則を實業部大臣に屆出つへし
實業部大臣必要と認むるときは受託契約に關する準則の變更を命することあるへし

日人商工業者 業態調査
關東局文書課刊行

滿洲に於る日本人商工業者、（法人を除く）の經濟活動を過去卅年に溯つて實數的に調査すべく、本春來關東局文書課總動員に調果約二千頁に亘る昭和九年度「關東局業態調査結果表」及び「關東局業態調査記述編」の二編の編纂を完了し愈々十一月上旬刊行する事になつたが、同書は昭和九年一月一日より同十二月卅一日迄の一ケ年間に於る營業投資、所得、營業組織等十數項目より成り曾て昭和二年に發行して以來第二回目の刊行で滿洲事變以來最初のもので日本でも曾て發行を見なかつたものである

官吏訪日團 廿二日東上

【神戶國通】滿洲國官吏日本視察團民政部社會科長王純古氏一行三十一名は廿二日午前七時半神戶入港のウスリー丸で來神し直に東京に向つた、一行は約一ケ月に亘り各都市を訪問し行政狀態一般を視察の上來月十四日歸國する豫定である

井上團長以下 工業會出席者 廿二日夜出發

【東京國通】日滿の工業提携を目的とし廿六日上海に於て開かれる上海會議をトップに各地に開催される東洋工業會議に出席の日本側代表團長井上匡四郎子以下在京組十一名は廿二日午後九後卅分東京驛發西下した途中地方組と合し一行廿三名は廿三日神戶發長崎丸にて上海に向ふ筈

日本郵船汽船の ナポリ寄港中止

【東京國通】日本郵船では廿二日重役會議の結果歐洲航路復航の鹿島、香取兩船のナポリ寄港の中止を正式決定、往航に關しても伊太利行旅客貨物等激減した事と伊太利への寄港が香港、シンガポール方面の英國行貨物蒐集に差しつかへある事を理由に廿七日横濱發の伏見丸より當分ナポリ寄港をも中止する事に決定した

商況欄（十月廿三日後場）

金銀市況

●上海標金　前引 九九二、五〇　後寄 九六七、九〇

●大連金鈔票　寄付 一二八、一〇　引 一二七、一〇　高 一二八、四〇　安 一二六、七〇　出來高 五八〇

△十月三十日限　十一月十三日限
寄付 一二八、三五　八、三〇
…… 八、一〇　八、一〇
…… 八、五〇　八、三五
…… 七、三〇　六、四〇
…… 七、二〇　六、六〇
…… 七、三五　七、〇五
歩 六、九五　出 來 不

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回 賣 一二〇、七五　買 一二〇、二五
第二回 賣 ——　買 ——
第三回 賣 ——　買 ——
▲倫敦向
第一回 賣 一志四片一六分七　買 八分五
第二回 ——
第三回 ——
▲紐育向
第一回 賣 三四弗八分五　買 四分三
第二回 ——
第三回 ——

大連爲替
▲上海 一〇三、六〇　一〇三、八〇
一〇三、五〇　一〇三、七〇
一〇三、六〇　一〇三、八〇
▲倫敦 一〇三、七〇　一〇三、二〇
一〇三、六〇　一〇三、八〇
一〇三、七〇

出來高 二七、一〇　二八、五〇　二六、七〇

●大連鈔票銀大洋
現物 一三〇、三〇　一三一、〇〇

●奉天國幣對金票
現物 一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇
▲十一月十三日限
寄付 出 來 不 申
引
高
安
出來高

各地市況

●横濱生糸
後場 引
當限 一、〇〇〇〇　一、〇〇〇〇
先限 九八〇、〇〇　九八六、〇〇

●哈爾濱大豆
十一月限 九、九五
一月限 一、〇〇〇
出來高

●同 小麥
十一月限 一、二一七
十二月限 一、二〇〇
一月限 一、二五〇
出來高

●神戶豆粕
十月限 四、四〇
十一月限 四、三一
十二月限 四、〇四

新京取引市況（十月廿一日後場）

現物（一値段）　定期（混合百斤値段）

寄引

先物 大豆 一四、五五 一車
九月限
十月限
十一月限 四、〇四 四、〇四 二四車
十二月限
一月限

高粱
十月限 三、四〇 三、四〇 二車
十一月限
十二月限
一月限
九月限

二十八日限 鈔票對金票 十三日限
寄 一一六、九七
引 一一七、〇〇
出來高

二十八日限 國幣對鈔票 十三日限
寄 八五、五〇 八五、五〇
引 八五、三〇 八五、三〇
出來高

手形交換（二十一日）
金票 二六九枚
鈔票 四四枚
國幣 三〇枚

討匪從軍行（一）
匪窟の掃蕩！
――拓け行く山河屯の現況――

十六日以來山河屯に到着した記者は同地を中心に舒蘭縣、楡樹縣、五常縣一帶に亘る討匪狀況を視察することにしたその前に山河屯方面の産業を紹介しよう

×

山河屯は拉賓線の中間驛で五常縣下の一都邑である、舊來吉林の材木業者が此處を足溜りとして拉賓線東部地區の森林伐採を行つて來たので發展した都邑であるが人口は約三千餘、そのうちには森林業者を筆頭に約百名の日本人が居住（森林伐採期間丈けの者を含む）してゐる、五常縣下では随一の發展性を有し殊に拉賓線の開通以來東部地區の森林伐採の山出しは大部分が松花江支流を利用して此處に集められその

大部分

が拉林河を利用して京濱線蔡家溝に運ばれそれより松花江本流にて吉林に集められたものであるが拉賓線の開通以來拉林河の利用は少くなつたのに反して山河屯驛は重要なる木材の發送地となり昨年伐採の木材搬送高は約二十八萬石二千八百貨車に及び拉賓線で吉林に運ばれた山林事務所も此處にある

×

斯くの如く木材の中心地であるため又匪團の目をつけるところであり田路部隊の此處に屯する迄は屢々匪團に見舞はれたが現在では田路部隊によつてこの附近の匪團は東部山間に追つめられ目下同部隊は頻りに之が追擊に從事し殲滅を期しつつある、拉賓線は山間を縫ふてゐるため頗る匪禍を危ぶまれたが、我が〇〇隊の分屯により更に絶えず

匪情を

得ては討伐隊の出動をみるので匪團の乘ずる隙なく殊に鐵道沿線を中心に集團部落の構成、鐵道保護の森林伐採等も大いに進み、保甲制の實施と相俟ち軍警官民の一致協力によつて意想外早く治安の確保をみつつあり住民の日滿軍警への信頼は日を逐つてその度を增してゐる、目下討伐軍は亞東洋、德林等の大匪團を東部山地に追及して殲滅を圖つてゐるが、既に今期森林伐採の森林業者約四萬人も山河屯方面並に濱綏線一面坡方面より入り込んだので之が保護警戒に任じてゐる警察隊員も協力して森林業者目當ての多籠り匪賊を徹底的に蕩掃すべく軍警一同非常なる意氣込と周到なる用意の下に討伐に從事中である、先般楡樹縣下に於る九江、四海匪の擊滅もその大きな收穫であつた、鴨綠江東邊道方面と共に滿洲國林産の首位を占むるこの

地方は

同時に又匪賊の剿窟としても兩々相讓らぬものでこの兩地區の肅清如何は滿洲國の治安維持上大きな支障を來すので今季討伐の成果は非常に注目されてゐる

北滿
拉濱線の掃匪一段落　第二段工作に移る
現地關係各機關協議の上　中央に意見開陳

【山河屯國通】拉濱線方面の治安工作も一段階を終らんとしてゐるので各縣當局では軍と緊密なる連絡の下に治安對策、産業開發對策に移つたが現地各方面の意向として

一、討伐のあとに於ける治安維持對策
一、農業林業開發の爲の技術的指導對策
一、地方行政機關の革新强化

等につきあらゆる關係各機關の連絡打合せ並に共同動作の合議を行はんとの聲が高く近く中央各當局への希望意見が開陳されるものと觀られる

討伐隊の强行に　治安全く確保
大匪團相踵て殲滅

【山河屯國通】拉濱線方面の秋季討伐は夏季の山間討伐のあとをうけて五常、舒蘭、楡樹、德惠諸縣下に於て行はれ其成績頗る良好にして此の地方の大匪首相踵で滅し今やこれ等の殘匪と德林匪、趙司令匪の掃蕩により全く治安の確保を得るに至つた、仍つて滿洲國地方官廳では直ちに討伐軍と協力して治安工作の完成を期し集團部落の構成、自治自衛團の組織强化、警察隊員の訓練强化、森林業者の保護取締等活躍を開始した、即ち拉濱線東部地區の森林伐採區域は夏季の討伐に於て匪團を掃蕩し先般來約五萬餘の伐採人夫は日滿軍警の保護を得て順次山入りを行ひつゝあり匪禍に妨げられたこの地方の開拓も急テンポに進捗するものと觀られる

滿露人の爲に　日本語學校　創設

【ハイラル國通】在海滿露人間に日本語熱の益々昂りつゝあるに鑑み、市弘警備處では錫市立小學校内に日本語學校を創立し滿露人に日本語及び日本の風俗習慣を教授する事となり省公署の認可を得て明春一月より開校の運びとなつた、第一回は滿人部、露人部各三十名を募集して滿一ヶ年教育を施しその成績如何に依つて蒙古語、露語等の課目を設くる計畫で、市警備處の日語學校創設は時流に適したものとしてその將來に多大の期待がかけられてゐる

山崎部隊の掃匪

【ハルピン國通】濱江地區横山部隊の在一面坡山崎部隊は十六日一面坡西南方附近肅清の爲乘馬部隊を指揮周家山屯及び金沙河に待機せしめ一面坡北方高地に陣地せる〇〇隊包擊の下に南北兩方面より討伐を開始し午後二時頃全勝匪約三十名は北方に逃走せる爲梶野〇隊と遭遇交戰二時間の後之を西方に擊退した、此の戰鬪に於て匪首全勝以下二名を逮捕し馬四を鹵獲した

ハイラル橋　けふ開通式

【ハイラル國通】一昨年七月十五日以來國道局ハイラル建設事務所の手で工事中のハイラル橋架橋工事は約一年三ヶ月を費し漸く此程竣工、廿四日午前十時官民要人を招待して開通式を擧行することゝなつた、右橋梁は市の北東六粁の地點ハイラルより三河に通ずる道路に架せられたもので總工費三十一萬圓長さ二一五米八五、幅五米五の鐵筋コンクリートの橋である

東滿
外務省の教育下附金　思惑外れて少し
豫算に對して九千圓の違算
どうするか？民會當局

【吉林支局發】當地在留邦人子弟の教育に就ては今より十數年前、時の民會當局が英斷を以て小學校の管理經營を滿鐵に委託し兒童一人に付金五十圓の委託料を支拂ふことになつて居り、別に外務省より毎年不定額の海外兒童教育補助金が下附金があるので、居留民の教育費は前記委託料より外務省補助を控除したものとなつてゐる譯であるが、昭和九年度に於て在學兒童三百六十人として滿鐵への委託料が一萬八千圓と計上されしも外務省より一萬二百圓の補助があつた爲め民會の現實支出は八千圓程度に止まつた

然るに本年度に入りては居留民大激增の趨勢（鐵路局關係のみにても百七十名增加）に鑑み、年度始めの豫算編成に際し在學兒童數を前年より倍數の七百二十名と見積り滿鐵委託料を三萬六千圓と計上し、外務省補助は前年より稍々少く委託料の半額一萬八千圓と假定して收支の均衡を圖つて居た處、此程に至り外務省より十年度上半期として下附を通達された額は四千五百圓であり之を半額にしても九千圓に過ぎぬ少額のものであつたので俄然豫算面に九千圓程度の不足を生ずることゝなつた

七萬五千圓程度の豫算に對して九千圓の違算を生じた事は由々敷大事件にして而かも年度の中ばを超えた後に此事が發生したのであるから、賦課金の自然協收位にては迚も追付くものではないので、民會當局としては種々の親角から根本的に檢討して之れが善後策を樹立せねばならぬ必要に迫られてゐる

農村未來の指導者　農村青年巣立つ
期待される吉林省第一回生

【吉林國通】吉林省公署に於ては地方農村の自覺向上は先づ將來中堅となるべき有爲青年を養成するにありとの見地から本年五月省下永吉、伊通、盤石、九臺、額穆各縣より縣長の推薦せる廿六名の農村青年を當地省立農事試驗場に收容して學科に實習に血の出る樣な教育を施し將來地方農村の指導者たらしむべく講習中であつたが愈々六ケ月の修業年限に達したので廿二日午前十時より同試驗場講堂に於て盛大なる卒業式を擧行した、これは全滿最初の試みであり且つ今回の卒業生は吉林省としても第一回生である爲右廿六名の青年が今後村落に歸つて實際的農村經營に如何なる足跡を殘し得るか今の處未知數なる相當の期待が懸けられてゐる

官公吏、學生等の　阿片吸飲嚴禁

【吉林國通】吉林警察廳、警務廳、阿片專賣署では從來阿片專賣署設置の趣旨が一般民衆に誤解され最近に於ては官公吏、學生、未成年者等が煙館に出入し阿片吸飲をなすものが相當ある模樣なのでこれは專賣署設置の趣旨に反するのみならず將來に及ぼす影響大なるものあり、この際これが徹底的取締りをなすべしとの意見有力化し寄々取締方法につき協議中の處先づ煙館の取締を嚴にすると共に官公吏、學生等の吸飲を嚴禁し未成年者の吸飲を嚴重取締るに方針を決定、近く管下各警察を動員して取締を開始する筈である

主旨から來る二十九、三十日の兩日に亘り東洋醫院に於て種痘の無料實施を行ふことゝなつた

圖佳線開通

【吉林國通】水害の爲め十九日午前より不通となり不便な徒歩連絡を行つてゐた圖佳線の東京城、馬蓮河間は二十日午前より開通した

延吉雜記

降り續く豪雨のため延吉市内の道路は全く泥濘と化して通行人を惱ましてゐる。殊に狹い五間乃至七間程度の道路をわが物顔に疾走する自動車の橫暴には毎度の事ながら輕い怒りをさへ感じさせられる

×

泥濘を走る自動車に泥除けを着ける事等は運轉手として當然過ぎる常識の筈で、高級車にそり返つた乘客の得意―優越感は行人に頭から泥をあびせる事でも無いだらうよ、スリップを防ぐためチエンをまきつけたタイヤーで路傍に逃げ込んでも平氣で泥をあびせる乘用車、バス、トラック何れも泥除けを着け樣ぢやないか

南滿
滿鐵財産調査委員會　調査方針決定
時價を標準に評價

【大連支社發】滿鐵財産調査委員會は二十四日第一回委員會を開くが此會合は委員幹事の顔合せと調査方針を決定し各現場に調査を依賴し三ケ月乃至五ケ月で大体終了する豫定であるが今回の調査は土地建物等の不動産に就ては評價により外部に手放す意嚮もあり時價を標準に評價する方針で機械類も現在使用してゐないものは整理する筈である

東洋工業會議　代表日程

【大連支社發】東洋工業會議代表一行二十六名は去る二十日東京發上海に向つたが滿洲に於ける會議日程は左の如くである

大連　十一月五日より九日まで
新京　同十日より十三日まで
奉天　十三日

鳳城縣藍旗村に　猛烈な颶風
死傷者四十四名

【安東國通】廿二日省公署へ到着せる報告に依れば去る十一日午後十一時三十分より約三十分に亘り鳳城縣第六區藍旗村に突如猛烈な颶風襲來し民家三十餘を破壞し死者男二名、女七名、重傷三十四名を出したと

天然痘蔓延
無料種痘施行

【吉林支局發】氣候不順に伴ひ各種傳染病の發生が相踵ぎ殊に天然痘が滿人間より蔓延せんとするの兆候があるので當地領警當局は居留民會と協議の上之を未然に防がんとの

家庭

心得てゐて欲しい 美容の秘訣十ケ條
どんな所でも造作なく出來る

1、聲を美しくすることは近代的美容の第一課です、牛乳を飲むと効果があります。

2、目は毎朝洗顔の時きれいな清水の中で、三四回パチパチとまばたきなさいますと、どれだけ効果的か知れません

3、耳を出すことが近頃は流行ですがお耳は念入りにお洗ひになつて、耳あかをよくとつておゝきなさいませ。そして忘れず耳たぼにはルージュをつける様になさいませ。

4、お鼻の穴へも、洗顔の際水を通して清潔になさいませ

5、折角お化粧してゐらしても歯の汚いのはみにくいものです、時折酸化水素を水にうすめてみがくやうになさいませ。

6、手をたえずなめらかに、柔かくするためには、薔薇水八オンスに、ワゼリン三オンス、硼砂末の少量を混合した溶液をこさへておき常用いたします。

7、肥り過ぎてお困りの方は、脂肪物をひかへ目に召し上つて、毎日かかさずレモン一個づつおとりになつてごらんなさい。

8、入浴の一等理想的な仕方は、三日一度位にすることです。

9、夜おやすみになる時に、卵の白味を顔にぬつて翌朝洗ひ落すやうにしてごらんなさいませ。しばらくつづけてゐますと、見違へる程お色を白くするものですから

10、滑石末三三、亞鉛華二〇、コンスターチ〇、六、香料一、以上のものを乳鉢でよくすりまぜ、ガーゼなど薄いもので漉しますとてもいい白粉が出來ます。

注意すべき御婦人の話し振り
▽……こんな人は困ります！

人を見る目の鋭い人は一寸した些細なことでその人柄を見拔いてしまふ。どんなに取繕つてゐても爭はれないものでそのお人柄は獨りでに相手に知られてしまふものですが、話し振りといふものは實によくその人を現はすものであります。

（作り聲） 話をするのに殊更に勿體をつけて話振りに格好をつけるのは僞りある證據であると人相學者も云つてゐる位ですが、惡い聲でも作らずに話した方がどれだけ感じがよいか判りません。人物が練れて來れば自然と聲も美しくなり獨特の潤ひが出て來る筈であります。

（金切聲） 頭の先から突き拔けるやうな金切聲や甲高い聲を出す御婦人がありますが、あれは頭腦の餘りよろしくないことを裏書きするやうなもので、昔から夫の運を惡くすると云はれて居ます。

（太い聲） 男子は大きな聲の持ち主がよく、身体が小さくて聲の大きい人は特によく日本古來の英雄型でさへあります。けれども御婦人の場合は余り聲の大きすぎるのは性格が强過ぎる嫌ひがあつて夫との折合が惡くなり勝ちであるとされて居る位です。これを反對に、これは男でも女でも同じ事ですが常に低聲でコソコソ話をするやうなのは性格が陰險であることを現はしてゐるのであります。

（口に泡） 話をするのに口に泡をたてると云ふ失禮なのを時とし見受けるところですが、斯うして話す時に口に泡を含む人は、不德義なことも平氣で行つて少しも意に介することなく、色情に關する過失も時としてなし易いものとされてゐますから、充分に御注意なさることが肝要です

（眼閉ぢ） 眼を閉じて話をする癖のある人がよくあります。斯うした人は油斷をしては不可ないとよく云はれてゐます。唇をなめたり齒で唇を押したりしながら話をする人も、何か考へること絶へぬ證據で、油斷をすることの許されない人とみられます。

◇……秋晴れのお午すぎ……◇

お料理獻立
あたゝかい食物
赤塚久子・發表

お寒い時の御馳走は何よりも『溫いもの』が一番でございます。親し、お客樣ならば、手鍋をつゝき合ふのもよろしうございませう、鷄肉の水だきやちりはどなたにも喜ばれる多の御馳走でございます。御婦人や御子さんの御客樣には蒸しずしやお汁粉などが好い思ひつきでございます。次に蒸しずしとさつま汁を御紹介致しませう。

一、蒸しずし

【材料】椎茸、乾瓢、蓮根、玉子やき、紅生姜、御飯（おひやで結構です）其他調味料（分量は人數に應じて各適宜）

【調理法】これは即席なら御冷御飯で出來ます。御飯にお鹽お砂糖で加減した酢を少しふりかけ蒸茶碗か丼に入れ上に椎茸、乾瓢、蓮根玉子やきなど、普通ちらしずしに入れる樣に拵へた具をのせ御飯蒸器に入れて充分溫まるまでむします。出來ましたら紅生姜のせん切をパラリとのせあついところをすゝめます。

二、さつま汁

【材料】豚肉、大根、人參、蒟蒻、牛蒡、里芋、味噌、砂糖、味の素、煮出し汁

【調理法】豚肉は普通の大きさに切り大根や蒟蒻などは二分の厚さの銀杏に切ります。深い御鍋に御野菜全部を入れ煮出しをたつぷり入れて煮ます。煮立つた所で豚をいれ、お味噌をポットリする位に加へお肉が柔かになるまで中火で煮ます、ほど煮上りました頃に御砂糖と味の素で御味をとゝのへあつい所を椀に盛つて供します。

ラヂオ

けふの番組
（M・T・O・Y 新京放送局）廿四日（木曜）

〔朝〕

六、〇〇 建國體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 中等滿語講座（大連） 講師 秩父固太郎
七、〇〇 中等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
七、二〇 天氣豫報（大連）
引續き 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 音樂（レコード）
九、二〇 料理獻立
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 婦人家庭講座 溫度と濕度に就て 赤塚久子
一〇、二〇 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京、及大連）
一一、四〇 ニュース（東京、引續き新京）
〇、〇一 經濟市況（大連引續き新京）

〔晝〕

〇、二〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 淸唱 六月雪 靑衣 許桂芬 風環巢 胡琴 王慧敏
一、二〇 ニュース（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
引續き 日用品値段（滿語）
二、二〇 成人講座（奉天） 王道外王之學說 奉天省立奉天第一工科高級中學校 張敬修
二、四〇 演藝（レコード）（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連、引續き新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、四〇 演藝（英語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間 お話靴屋の夢 下平哲英
五、二五 今晩の番組（日、滿語）

〔夜〕

六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 氣象通報 番組豫告
六、三〇 國民の時間 關於新京之施政概況（二）（滿語） 新京特別市長 韓雲階
七、〇〇 謠曲 葵上 觀世喜之（東京）
七、三〇 歌謠曲（東京） 渡邊はま子 伴奏 日本ビクター管絃樂團
七、五〇 浪花節（大阪） 杉野兵曹長の妻 天中軒雲月
八、三〇 時報、ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース、經濟市況 氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇 探母 公餘俱樂部票友
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱） 一、講演 二、レコード「秋」ヴラーソフ「胡桃割」 三、ニュース

お馴染流行歌手の歌謠曲六題

唄……渡邊はま子・兒玉好雄
伴奏……ビクター管絃樂團
〔後七・三〇 東京〕

（一）渡邊はま子

（イ）アリラン夜曲 坂村眞民作詞 鈴木靜一作曲

(1) 日長日暮れて薄紅つけて アリランアラリヨ紅つけて 誰に逢ほとの桃色上衣 呼べば月さへかたゑくぼ

(2) 君と別れて越えゆく峠 アリランアラリヨゆく峠 戀の胡弓のせつない歌に 浮ぶさぼろし流れ星

(3) 忘れられない一夜の花よ アリランアラリヨ夜の花よ 夜のオンドル夢さへおぼろ 影もいとしや窓あかり

（ロ）歸らぬ父 長田幹彦作詞 細田義勝作曲

波に鷗の影さむく、白帆暮れゆく夕まぐれひとり寂しく磯に出て、雲のはたての夕燒に、父の面影しのぶかな

母に別れたみどり兒を、父はひとりで育てあげ、浮世小路に乳貰の、雪の夜嵐、雨に風、恩は海山つきねども

海は悲しやわが父を、底の藻屑となしはてぬ、その日その夜を磯に出て、泣けば渚の夜の灯に寄せて返すは波ばかり

（ハ）女の泣く夜 西條八十作詞 佐々木俊一作曲

(1) わたし浮世の暗に咲く、うちひしがれた涙花。蕾のままに手折られて、歸る巣もない片羽鳥

(2) 苦勞させとて母さんが、生んだ娘ぢやなけれども、意地の强さにふるさとを捨てゝ流れの旅の鳥

(3) 昨日は昨日、今日は今日明日はあしたの風まかせ、涙かくして泣き笑ひ、紅白粉のはかなさよ。

（二）兒玉好雄

（イ）涙の三度笠 西條八十作詞 鈴木靜一作曲

縋るその手をつき放し、無理に門まで出は出たが、男ごころは辛いもの

無事で達者で暮せよと、拜む未練の三度笠、またも泣かせる窓の影

可愛いおまへを後にして、故郷を賣るのも男づく、夢の浮世と想やんせ。

今日が別れの空見れば、月も片割れ、雲のかげ、すゝり泣くよな風が吹く

（ロ）清水次郎長 兒井英雄作詞 白木善信作曲 三宅幹夫編曲

(1) 春は再びめぐり來て、里の清水は茶摘時、捨てた故郷の唄に泣く、あゝ男次郎長旅情

(2) 涙おさへて振り向けば、三保の鹽風眼に沁みて、通ふ夢路の妻の俤、あゝ男心は捨てやせぬ

(3) 仁義捨てれば名もすたる天龍下れば旅合羽。濡るる心を振り分けて、あゝ何時の日清水へ戻るやら

（ハ）無情の夢 佐伯孝夫作詞 佐々木俊一作曲

(1) あきらめませうと、別れて見たが、何で忘りよう、忘らりよか命をかけた、戀ぢやもの、燃えて身をやく戀心

(2) 喜び去りて、殘るは涙、何で生きよう、生きらりよか、身も世も捨てた、戀ぢやもの、花にそむいて、男泣き

（寫眞は渡邊はま子さん）

お話「靴屋の夢」
後五時よりの子供の時間
【新京】 下平哲英

南のある國都に親子の靴屋がありました。お父さんは評判のよく働く眞面目な人でしたがそれに引換へ息子は靴屋といふ商賣が嫌ひで毎日小言ばかりいつてなまけて居ました。

或る日なまけ者の息子はお父さんから其の國の大臣の靴を縫ふようにいひつけられましたので仕方なく縫ひ乍ら自分もこんな立派な靴をはく王樣や大臣になつたらなあとそんな事ばかり思つてゐたものだから針が手にささりました「アッ、痛かつた」「さあさあ仕事をするんだよ。つまらない事ばかり考へてゐても仕方がないよく考へて御覽。此町に一軒しかない靴屋の私の家がもし商賣をやめたら町の人達は靴をはく事が出來ないぢやないか此靴屋といふものは誰でも出來るものではない。自分に與へられた職業といふものが一番尊いものだよ」と云つてきかせますけれどなまけものの息子は自分から働かうとはせずいやいや仕事を手傳つていましたがその內にふとした病氣が元でお父さんはなくなつて仕舞ひました。

息子はお父さんの後をつぐ事になりましたけれども仕方なしに仕事をしてゐるものですからろくな仕事は出來ません。王樣の處へ收めるお靴でも今までとはまるで變つた恰好のものでしかも一度はいたらすぐに破れる樣なものでした。或日の事王樣は町を御巡狩になつての歸り道、林の處へさしかかりますと林の大きな木の下に靴屋がねてゐます王樣の家來達は此のなまけ息子の事を委しく申上げたら王樣はよくわかつたと仰られその息子をおこしておいしいブドウ酒をのませたら、今度はよつぱらつてねてしまひました。

夕方の冷たい風がほゝをなでたので息子は目をさましました、アラーびつくりするではありませんか今まではきたない着物を着た靴屋であつたのに何時着かへたのか着替へさせられたのか立派な王樣の服を着立派な劍をさし澤山の家來がそこにきちんと坐つて居ますびつくりしてゐると大臣の一人が靜かに出て來て「王樣あなた樣は永らくお休みになりましたのでお仕事が澤山たまつてゐます。早く御判決をお願致します」と無理にせき立てられ政務所へいきましたがとてもとても忙しくて一時間位もしたら頭がふらふらふらになり體もふらふらになりました。

もうよいだらうと大臣は又ブドウ酒をのませたら又ぐうぐうねてしまひました。冷たい夕風に息子は目をさましました。すると今までのきれいな御殿、立派な王樣の服はどこへ消えたやら、元の靴屋になつてゐますアーアー今のは夢であつたか。夢でよかつた。王樣のお仕事と云ふものは何んといふお忙しいお仕事だらう、もし僕があの夢のまゝ本當の王樣であつたらもう今頃は死んでしまつてゐるだらう。」と一人ごとを云ひました。

王樣のお智惠でなまけものの若者は夢の樣な王樣になりました。そこで始めて何の商賣でも樂な商賣はないといふ事を知り自分の商賣の靴屋が一番よいといふ事がわかり。眞面目に働くようになり永く王樣に可愛がられました。

興味深い！刀劍の話〔九〕
井上刀劍店主・記

そこで德川家又は何々大名家には正宗又は世にも珍らしき名刀が何十本も新身裸身で油漬けになつて居るたぞと世間で評判をしたものだが、刀の大鉄羅があらう筈がないそれは兎も角、正宗が一番善い刀だと思ふのは間違ひで、他に正宗よりもまだまだ

・・・立派・・・ た銘刀がある、備前（三平）即ち包平、高平、助平、大和で天國天座、山城で三條宗近、同榮御作、伯州では安綱、豐前では神息、筑州の三池典太光世又他の國の物にも隨分あるのである、只正宗ばかりが銘刀ではない、之は正宗が刀の內で一番名刀の如く言ひふらしたのは、信長秀吉時代の流行、講談師から導火線となつた智識である、如斯講談や話家にまで出る樣になつたのは、其の

・・・當時・・・ 拜領物に正宗と名付けられたものが澤山あつたからである。昔は公卿の質置き刀と云ふ物があつた、之れは刀身は先づ贋物が多く先づ鄕之義弘とか備前の正宗十哲の內、大兼光濃州志津三郎兼氏とか云ふ樣た物を贋造して之れを黑塗り鞘にして、德川家葵の金定紋を付けて金襴の袋に納めて貧公卿が

・・・質屋・・・ に持ち込んで大枚の金子を借用し、終にはこの品が質流れとなつて民間に天降ると云ふ事である、民間では先祖が何某であつて戰功により德川家より拜領したが如く言ふらす輩も多々ある事を見聞してゐる、之れは素人の刀好者は御買入れに際し細心の注意が肝要である。

浪花節 杉野兵曹長の妻
天中軒雲月
〔後七・五〇大阪〕

「神風の伊勢で名高い津の町の久留島町の片ほとり長屋續きの二軒目の窓の格子に掛けられたまだ新しき木札には御仕立物致します、下に小さく主の名前、杉野りう子と記されし優にやさしき女文字、これぞ過ぎつる日露の役に軍神の名に謳はれし廣瀨中佐の部下として報國丸に乘込んで月影暗く波吠ゆる夜にまぎれて命賭け旅順の港を閉塞し海の藻屑と消え果てし杉野孫七兵曹長の妻と三人の幼兒がその日を送る佗住居……

◇

津高等女學校の淸水校長が訪れて勇士の遺族の生活に不安あつては國の恥また遺子達を立派な軍人に育てられるやうに津女學校の裁縫教授として迎へたいとすゝめその資格なしと固辭するを强いて手傳婦として就職せしめりう子勤めを勵むその後、りう子夫人は助教授に昇格せしめやうといふ校長の言葉にそれでは上京して資格に恥ぢぬ實力を得て歸校致しますと堅い決心を語ると校長も喜んで激勵の言葉を送つた。

◇

「斯くてりう子は校長に暫時の間の暇を貰ひ三人の子供は鄕里なる老いたる母の手元に預けわが身一つで飄然と志すのは大東京丸の內なる裁縫學校若き娘と机を並べ研究苦學の片手間には夜の目も寢ずの賃仕事朝まだきより起き出でゝ都の巷に納豆賣り學校退けて下宿に戻るや女中の代りに働いて炊事洗濯拭き掃き掃除それで學資の補助にする弱い心の萌す時、晝も夜半も厭ひなく下宿を後に一文字急ぐは神田の須田町なる往來も繁き交叉點見よ見よ仰げ空高く風と雨とにさらされて都の塵にまみれても國家を護る軍神の勳は朽ちぬ二人の姿その銅像の主こそ一人は廣瀨海軍中佐殘る一人は二世かけて貞操を誓ひしわが良人譽は世世萬世に滅びぬ杉野兵曹長

◇

生ける人に語る如く、はては片時離さぬ當時の遺書取出して讀み上げ白布で銅像を拭ひ淸めるのを行人怪しみ警官は杉野未亡人と知つて敬意を表するのである

斯くて力行の功顯はれ本格の教師として故鄕へ錦多敷生徒に慈母と仰がれる身となつた、一日三兒を伴ひ墓前で各自に將來の覺悟を誓はしめ夫の遺志を實現して天晴賢母と仰がれる。

◇

時大正の十一年若葉に風の薫る頃眠るが如く大往生遂げにし天晴れ女丈夫の貞操のほまれを後の世に語り傳へん浪花節題して杉野兵曹長の妻の一席。

放電

五回連續の「お笑ひ道中」のうち一三、五の三回を聽いたが、金語樓の名古屋の巻はなかなか佳作だつた、あくまでも金語樓調を出したものだが、インテリの興味を全面につないで卑俗に墮ちぬところ、苦心の跡が覗はれるまづ現代日本の持つ數少い明朗性のなかの一つではあらう追ひ追ひ滿洲でもあゝした試みをやるんですね

文藝

生活の花 3

川内堯　カット　池邊青李

滿子は大津に惚れこんだのであつた。甘い男として春夫はそれを知つた─悟つたのであつた。

「君、あれの何處を好きになつたのだ？」

「何處と言つて、何處か知ら好きになつちやつたのよ！」

彼女自身が言ふやうに彼女は二十二歳か二十三歳の時いち度結婚して、五ケ月で夫と別れて、大連に來てカフエに働く職業婦人になつた女であつた。それだけに相當なモダン性を持ち、かなりに現代女性としてのセンスを備へた二十歳代の女であつた

大津が長い旅行のあと、そのまゝ旅行先の都市に轉勤することになつた。これは大津を好きになつた池谷滿子にとつては、非常に打擊であつたことは言ふまでもない。そのことを聞いたとき、滿子は「あたしP市へ行きたいわ！」と敢然と春夫に言つたものである。春夫は、ほう、相當なもんであるなと思つたものだ。だが、それくらゐの春夫の「おどろき」をあつさり乘り超えて、池谷滿子は本當にP市まで行つたのである。

─池谷滿子P市に大津貫三を求め行く

そういふニユースは、春夫をめぐるグループの間にいささかの暴風雨みたいなものを捲き起したと言つてもよからう。あまり知つてる人はゐないであらう。大津のところへ行く滿子のために、春夫は船の切符の世話をし、向ふに着いてからの宿屋の世話までもしてやつたのであつた

池谷滿子は愛する彼を追ふてP市まで行つた。ところがP市まで自分の仕事をなげうち、旅費を費つて（もつともその内の何パアセントかは大津が負擔したのであつたのだらうが）…行つて、彼女は何を、どういふものを生み出すことが出來たか？別に、それをこゝで計數的に勘定することは間違ひであらう。

そのあと、半年か一年か經つてから、滿子は春夫に言つたものである。

「あたしは、P市へ行つてどんな扱ひ方を大津にされて來たと思ひます？」

「君がどんな風に大津から扱はれようと、それはぼくの關はり合つたことぢやない」

「そりやわかつてるわ。だけど大津の奴あ、あんまりひどすぎる。大津はよそめには實にていねいにあたしを迎へあたしを案内し、あたしに御馳走したわ。だけど、あたしの求めたものをあいつはあたしにみぢんもくれはしなかつたそんな法つてないんだ！」

彼女はそう言つて眞つ赤な顔になつて憤慨するのであつた

世紀末と「惡の華」について

細川明

最後に彼の巴里の腐頽せる生活の中に醉ひながら歌つた、「寶石」を引用して見よう。

「いとしいひとは裸です、私の心をよく知つてゐる彼女は彼女の壯麗な寶石より外は何ものも身につけてゐないのです、豐麗な裝身具は彼女に驕れる風情を添へます。事實、幸福な、その日〱を彼女はモールの奴隷にかしづかれて暮してゐるのですから─

生々とした嘲けるやうな音を立てながら、彼女が踊るとき、貴金屬と寶石できらめくこの世界は、私を無我の恍惚に誘ひます、音と光の入りまじる、かうした情景を私は狂熱的に愛します

さて、彼女は長々と寢て、愛するまゝに身をまかせます、そして、ソファの上から彼女は、滿足の微笑をもらすのです。大海の樣に深くやさしい私の戀ごころ─海が斷崖に向つて打ちよせるやうに、彼女に向つて、砂のやうに高まつてゆく、私の戀ごころに─

よく馴らした虎のやうに、じつと私の上に眼を注いで捉へどころのない夢みるやうな身ごなしで、彼女はいろんなポーズを試みるので無拓と淫蕩が一つになつて彼女の變貌に、新たな魅惑を添へます。

腕と足と腿と油のやうに、つや〱して白鳥のやうに波打ち、私の透んだ朗らかな眼の前を過ぎてゆきます

そして、わが葡萄畠の葡萄の果實、彼女の胸と腿は天使よりも、媚めかしく、動いてくるのです、私の心しづけさを亂さうとして、そして、靜かに寂しげに座つてゐる私の心の水晶の座を亂さうとして─

私は美しい少年の半身像に美女アンチオプの腰を結合した一枚の新しいデッサンを見るやうな氣がしたのです。それ程その胴體は骨盤を、くつきりと目立たせてゐました、茶褐色の頰の色にうつる紅の麗はしさ！

─ランプは消えてゆきます

煖爐の火だけが室内を照します、燃え上る焰の吹き上るたびに、琥珀いろの彼女の膚は、血紅色に染まるのです。

追記─詩の譯は全部矢野文夫氏のものです

なほ、辰野隆博士の『ボードレール研究序說』が出版されてゐる筈です、まだ讀んで居りませんが、推奬していゝ本だと存じます。（一九三五、一〇、九）

（完）

寛城子行

關谷雅子

あき風の吹くねぎ畑たれの碑か

ぽつそりたちて兵舍遠くに

◇

遇ひがたき如來の御手に二十四のみたまは法の妙土にお往す

◇

群れおちてみのおきどころかさゝぎにおはれて雀は草におりつつ

─人を思ふ─

あじろ笠草におろして法身の人のみ姿さびしくて見ゆ

◇

惱みつつ旅には出でん寫したる君が法衣の白百合のかげ

◇

馬渡の里に惱みのなくとしも

しく〱旅の法衣なるかも

◇

陽の照りに日毎あてつつ白菊のかたきつぼみのほぐれそうなり

◇

をぐらさの道にのぼりつ葉ごしなる水道たんくの月につばらか

◇

風吹けばほしけてあるかも數なくて市場はさかなの高價みせつつ

◇

風吹けばほこりのはげしさ目にあたり馬車にのると子はせびりつつ

◇

汽車やりて警備巡査はとぼり〱草をふみつつ結所かへるも

◇

むき大豆ここだつまれて野づらには運ぶ測るの苦力群れつつ

パンドラの箱

古關學

○メスカリン

メスカリンといふ藥物を飮むと隨時に狂人の世界に遊びにゆける相で、この實驗が一昨年十二月東大精神科の内田勇三郎といふ人に依つて試みられ、その幻覺の世界が新聞に出てゐた。

メスカリンはアルカロイド屬でサボテンから採る。メキシコ西部のペヨト又はペヨトルと云ふ茄科の植物中に含まれてゐて、これを服用すると腦細胞を刺戟してユニークなファンタジーの境地に遊べる

ペヨトルは全長十乃至二十糎位で地中深く潛つた棒根を持つ。幹は數糎の高さ、圓筒形、棘はなく綺麗なバラ色、又は白。黃色の花をつける。適地は沙漠、峽谷等で、學名は何だか難かしい相だがメキシコ土人はPEYOTLと呼びスペイン話でPEYOTEなんだ相です。

上部を圓く切つてペヨトルボタンとかメスカル・ボタン我ひはドライ・ウイスキーと呼ばれて市場に出てゐるとかメキシコ人はこれを靈魂の食物だと考へ斷食董行のペヨト採集行軍。肌えてるからペヨトを食べると忽ち頭腦幻覺。その狀態を無邪氣な土人は神が乘り移つたと云つて喜ぶといふ。

○汗の效用

フランスのヘンリー四世が美はしいガブリエールをあれ程までも狂的に愛した動機。それは踊り疲れてガブリエールが脫ぎ忘れた白絹を取つた四世が、その汗の匂ひを嗅いだ瞬間からだと云はれてゐる

全くダンスと汗とそして戀とは離すことの出來ない宿命を持つておるらしく、從つて汗を戀の禁呪に使ふ地方さへある。シューレヂア、ボヘミヤオルデンブルグの娘達は、林檎やパンを腋の下に挾んで汗を沁みさせて思ふ人に食べさせる。またスプレーワルデの乙女達は、ビスケットを内股に挾んで寢て、ぐつしより汗を沁み込ませて戀する人に捧げる。かうするとその戀の成就することかのニッポンのいもりの黑燒よりも確實だと云はれておる。何と恐ろしい汗の效用ではありませんか。

○紫煙の行方

紫色にゆらり〱と立昇る煙草の煙は非常に小さな粒子でその大いさは一糎の百萬分の一位で地球上の埃の中で最も小さなものである。

その煙草の煙は一度立昇つたら最後空氣中を放浪して永久に落ちて來ない。それは粒子が極端に小さい爲空氣の分子の絕え間ない運動に影響されて落ちようとしても落ちきれず上方に押し上げられるからである。

煙草は燻つてゐるときは紫色の美しい色をした所謂紫煙であるが、一度吸つて吐き出すと白くなるのは何故だらうとは誰でも一度は考へて見ることであるが、その理由は煙草の煙は非常に微粒子の爲光線の關係で紫色に見えるが、一度肺に入るとその中のニコチンも幾分取られるし肺の水蒸氣と煙の煙と一緒になつて粒子が大きくなる爲光線の屈折で白くなる。

一度立昇つたが最後永久に空氣中を彷徨ひ步く煙草の煙それはまあなんと煙草に相應しい最後であり行方ではないか。

○新ハリウッド誕生

風光明媚をもつて天下に鳴る南フランスのコート・ダヂユウルに、映畫王國を建設しようといふ話は隨分と久しいものだつたが、愈々今度こそこの理想鄕に歐洲のハリウッドが實現しやうとしてゐる。

最近フランスの百萬長者ペリエールは、カンヌからアンチーブにかけて四十五ヘクタアルの土地を買しめンプロダクション設計に取りかゝつたオット・ボーエの設計に依ると、素晴らしい九つの撮影所（敷地二十五萬平方メートル）七室の錄音室を始め、所員の保養用ホテル、三百台の自動車を容れるガラーヂ等の用意から、發電所まで完備といふ大がゝりなもので、然も建築は淒い程のモダン振り。

一方、ドイツを逃れたユダヤ系の富豪の一團は、同じカンヌ近くに大映畫會社を起しユダヤ系のドイツの名優、名監督を糾合して大飛躍を計畫中であるし、アメリカの數種の大會社さへも、フランスの支社をこの地に集中すべく、着々その實現に取かゝつた程である。アルプス山脈を背に名だたる碧い海（アヂユウル）を控へた常春の「太陽の邦」が一大映畫王國と化する日もさして遠い事ではあるまい

文藝手帖

▲蒙藏、中央アジア研究の歐文圖書を紹介する。日錄中の圖書は中央通り滿洲事情案内所に蒐集してあるもの眞摯な學徒、憂鬱の研究人にお奬めする。

▲新京ラヂオドラマ研究會では廿一日より千葉一子君作の『嵐』の練習を開始した、放送脚本は千葉君の原作戲曲を放送用台本に脚色したものであることを記しておく。放送日取りは大體月末の豫定である。

▲在京蒙古研究の第一人者西藤辰雄氏が近日中に約三年位の豫定で興安嶺方面の研究調査に赴かれる由である 氏の眞摯な研究が順調に良好な結果をあげられんことを祈るものである。

▲因に同氏の滿北中の斷片は紀行なり日記となつて、本紙學藝欄に寄稿をお願ひする筈で、讀者諸彥と共に待望したい。

▲古關學君の隨想『パンドラの箱』は面白い（由良生）

家庭医学

慢性胃腸病の組織療法

自然に食慾を增進し組織を强化する養生法

最近のニユースによると、英國の衞生局では、同國の胃腸病者が全病人の四分の一を占めてゐる、と報告してゐますが、我國は中々それ所ではなさゝうです。

胃腸病で死ぬ人だけでも、年々二十萬に及んで、全病死者の一割を超えてゐるからその罹病者の數は恐らく、全國民の三、四割にも達するだらうと云つてゐる向もあり、兎に角英國などに比べれば桁違ひの多數で、しかも

其の大半は慢性に

なつてゐる者と見られます。

一體、慢性病の患者は病氣に慣れて、激しい痛みでもない限り、兎かく病氣を等閑にし勝ですが、それは大變な危險な事で、特に胃腸病にあつては、十分の注意を以て手當をしないと、知らず識らずの裡に、恢復し難い重症に陷ることが少くありません。

胃腸病そのものが惡化して、生命の危險に曝されるといふ許りでなく、胃腸障碍の爲に榮養分の攝取が不充分となつて、全身の衰弱を招き、結核その他の病氣を併發して、その爲に命を失ふ人も澤山あります。

それなら胃腸病には、一體どんな療法がよいかと云ひますと、元來、胃腸病と一口に云つても、その中には、症狀の違つた

種々の病氣が包含

されてゐるのは、誰方も御承知のところでせう。

在來の療法は主として、その症狀を鎭靜せしめ樣とする、對症療法ともいふべきもので、例へば胸やけのする胃酸過多症には、重曹劑を與へて、胸やけを起す過剩な酸を中和し、反對の減酸症には、稀鹽酸を與へて足りない酸を補ひ又腸カタルで下痢するものには、止瀉劑を、消化不良には、ヂアスターゼの如き消化藥をのませると云ふのが、殆ど定石でした。

勿論かうして、症狀を制する事も、或場合には必要であり、有効でありますが、一步突込んで考へますと、胃腸病の種々な症狀は、結局、胃腸の組織に病變があつて、その爲に現れる副産物とも見なすべきものです。

そこで最近では、その病源に遡つて、之を恢復させる事が、いちばん妥當であり、

合理的な方法て

あるとの主張が醫學上に勃興し、それに呼應して、胃腸病の組織療法ともいふべき、新しい療法が行はれる樣になりました。

それは若素（わかもと）で知られてゐるヘーフエ菌劑を内服する方法ですが、元來ヘーフエ菌には人體諸器官の組織細胞に働きかけて、衰弱した機能を復活させる、酵素といふ活性物質を、豐富に含んで居ります。

胃腸病は凡て胃腸筋肉の衰弱損傷に基くものですから、其組織細胞の機能さへ健全に恢復するなれば症狀も自然と消散する譯で、ヘーフエ菌には實にさうした作用のある事が闡明されたのです。

而もヘーフエの酵素中にはヂアスターゼ、マルターゼ、リバーゼ、プロテアーゼ等々、胃腸の機能を助けて、消化をよくする消化酵素もあり、之らの作用を補助するホルモン、ヴイタミン等の貴重成分も併せ含まれてゐます。

それでヘーフエ菌劑の若素（わかもと）を服用しますと、複雜多樣な症狀に惱む慢性胃腸病の人も、異常に陷つてゐた胃腸が機能的に復活する結果として、自然に食慾が增進し、消化もよくなれば痛みも鎭まり、便通も整ふといふ風に、速かに恢復に赴く譯です。

かつヘーフエ菌劑には脂肪、蛋白、無機物、ヴイタミン等の榮養素も網羅されてゐますから、衰へた榮養を恢復して體力を充實する上にも喜ばしい効果を奏します。

體質と食物

慢性病の原因に不完全食、即ち榮養の缺陷がある事は、醫學の常識となつてゐますが、小兒時代の不完全食が虛弱體質を造る事も、今や殆ど常識となりつゝあります。

殊に日本人が常食としてゐる米飯には、小兒の發育に最も必要なヴイタミンとカルシウムが不足してゐますが、消化の惡いのを我慢して半搗米や胚芽米を食べてもカルシウムは稍補はれるが、ヴイタミンはなほ充分でありません。

そんな場合若素（わかもと）を三四錠宛服用させますと、カルシウムは勿論、ヴイタミンBの不足が充分に補はれ其上多くの消化酵素があつて、消化をよくしますから、實に好都合です。

疲勞を恢復する黴菌と腸を丈夫にする黴菌

今日では、人間の腸内に、無數にゐる黴菌の中には、有害な黴菌が群棲してゐるといふ事實を、知らぬ人はありませんが、この黴菌の中に、人體にとつては非常に有用な黴菌があり、これが有害な黴菌の繁殖活動を抑へてゐるので、腸の機能が圓滑に行はれてゐるといふ事實を、知つてゐる人は少いかも知れません。

この有益菌の中で、よく知られてゐるのが乳酸菌であります。この菌は、生きてゐる間は乳酸といふ一種の酸を生成する性質があり、この酸が腸の中にもつとも多い大腸菌などの有害菌を殺す作用があるので、つまり腸内の殺菌劑となり、細菌によつて腸内に生ずる有毒物質の吸收が原因となつて起る種々の障碍─例へば早老、衰弱、頭痛などの豫防に役立つといふのであります。

錠劑わかもとの主菌顯微鏡擴大圖

この說は近代細菌學の泰斗、メチニコフ博士によつて唱へられたため、一時學界の視聽を集め、特に乳酸菌を培養したものを飮用することが行はれましたが、唱道したメチニコフ博士が、

長壽

もしないで逝去して以來、この說はあまり唱へる人がなくなりました。實際にメ博士が云つたやうな効果があるとしても、この菌は乾燥狀態におくと間もなく死滅して乳酸生成の作用をしなくなりますので、粉末製劑としてはその點に注意が必要です。

ところが、最近に腸疾患に効果のある黴菌として、乳酸菌よりもつと作用の廣いものが發見されました。それはヘーフエ菌で、この菌は乾燥狀態においても、容易に死滅しない許りでなく、乳酸菌のやうに乳酸を生成する作用もあり、その外にも種々の特色を持つてをります。只ヘーフエ菌はこれを

活性

の儘製劑することに困難があつたのですが、我國においては榮養と育兒の會が、苦心の末これを活性のまゝその効果を損ふことなく、製劑とすることに成功したのが、有名な若素（わかもと）であります。

この若素（わかもと）は、各種の酵素を含んで體内に燃燒するエネルギーの給源となり、或ひは體成分の構成要素となり、あるひは新陳代謝促進の要素となつて、疲勞を恢復し、

衰弱

を豫防するといふ作用を發揮しますから、家庭に缺くべからざる、常備藥として推奬されるのであります。

本劑の製法は、前述の樣に特殊なもので、專賣特許となつてゐる位ですから、他の類似藥にまどはされぬ樣注意が必要であります。

本藥價は粉末三十日量一圓六十錢、九十日量四圓五十錢、錠劑廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓で、東京の榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇）から發賣され、當地の各藥店にも取次販賣してゐます。

貧しさの中から斯くして慢性胃腸病を輕快

愛媛・水原久二

私は是迄一度も臥したことなく、常に皆々樣より羨ましく思はれる程でありました所が、九月頃突如として腹ひかゝつた病氣は非常に激しく、近くの町醫に診察して頂きました處、胃腸病との事で、その手當を受けてゐましたが（中略）この病の爲に青春たる二十一を一期として我慢せねばならないのではないかと思ひ、何も醫藥を續けてみましたが、我々の小作農家には藥より醫藥を償ふだけの金錢もなく（中略）毎日となく苦悶を續けてゐました處が、或時書籍を一讀して見ると、私と同樣で苦しんだ人々が『錠劑わかもと』により恢復したと云ふ感謝の書を提供してあるを見、私もどうにかして買求めて服用してみたいと思ひ、漸く金を整へ二十五日分一圓六十錢のを購入して服用しましたが、最初は何の効果も得ず、半信半疑で續けてゐました。すると腹痛は拭ひ去られ、便通も整ひ、目下にては健康を恢復し、一家揃つて圓滿に、かつ面白く暮らす樣になりました（中略）お禮申上ますと同時に、私と同病で惱みゐられる一般の人々に、お奬めし度いと願ふ次第であります。

國都の防空獻金 漸く十萬圓突破

但し既往の受付も加へて 各方面から續々申込

滿洲防空協會新京支部の防空獻金受付は各方面からの心からなる賛助によつて續々集まりつゝあるが、昨二十三日現在遂に十萬四千三百九十九圓十八錢に達した、これが内譯は地方事務所受付累計三千八百四十七圓六十錢、特別市公署および居留民會受付累計五萬一千七百七十三圓八錢、新京支部既往の受付四萬八千七百七十八圓五十錢で、金額においては特別市は遙かに優勢だがこれは中銀の大口申込五萬圓があつたためである、附屬地側二十一日までの氏名をあげると左の通り

金一千圓大原萬千百、金一千圓前田伊織、金一千圓佐藤精一、金一百圓鳥羽實、金二圓五十錢小澤又五郎、金四圓二十圓小澤フヨ、金二圓五十錢西山豐、金二圓五十錢中多豐治、金四圓櫻村義雄、金九圓六十錢中根齊、金一圓山本磯誠、金一百圓滿洲興信公司新京支店、金六圓野田兵藏、金二圓五十錢椎葉敎作、金三圓國本盛七、金三圓北村直次郎、金十金三十五圓武居重雄、金十四圓五十錢谷本維男、金二百圓大同組出張所、金十五圓長崎兵次郎、金二圓五十錢田中吉松、金一百十九圓八十錢、新京會館及ダンサー一同、金一百圓佃竹次郎、金一百二十圓松本忠廣

城内兩銀行から 千五百圓獻金

益通銀行および功成玉銀行では二十三日各七百七十三圓計千五百四十六圓を防空獻金として市公署を通じ寄附した

トランクの中味は 六貫匁の生阿片

東滿時報社主幹新京署へ

二人がかりで漸く持運びの出來る程の生阿片を密輸して新京驛で御用―二十三日午前十一時三十二分着京圖線の旅客中白布に包んだ重そうにしてトランクを持つて集札口を出た擧動不審の一邦人を驛警戒中の平田巡査が怪しと睨み詰所に同行トランクの中味を調べたるに出しも出したり枕大に丸めた生阿片四個（重量六貫百匁）價格にしてざつと二千五百圓、右は原籍長崎縣南高來郡島原町三百七十五番地間島省龍井村東町東滿時報社主盟主幹山田正益（三六）とて「自分は龍井で李某から貴重品だが新京まで持つていつて呉れ」と頼まれて持つて來たと共述してゐるが禁制品密輸犯人として身柄は新京署に送致され目下取調べ中

特異の氣象觀測に 承德觀象臺設立

來春一月頃起工の豫定

【承德國通】北に砂漠地帶、南に山獄地帶を控え特異な氣候變化を有する熱河省では從來氣象觀測所の設立が要望されたが、續いて中央觀象臺では省の中心たる承德に之が設立を計劃、中央より土佐野技手來承し、兵要地誌班、省公署實業廳等と連絡目下着々準備中である、過般赤峯に工費二萬五千圓を以て赤峯觀象臺が設立され因に總工費三萬五千圓、建坪二千坪、場所は承德南營子、起工は來春一月頃の豫定であると

初冬の訪れ……西公園スケッチ

滿都工業所の 洋服ドロ

二十三日午前零時から六時頃までの間に鐵道北滿都工業所工場の裏口の錠前を破壞して工場屋内に侵入した曲者あり工場内仕上台の上に載せてゐた洗濯洋服二十數着、オーヴァー六着其他合計一千五百餘圓の品物を竊取逃走、屆出により警察では極力犯人捜査につとめてゐるが犯人は内部の事情に通じたものと見られてゐる

第三艦隊磐手 故國に凱旋

【上海二十三日發國通】長江流域及び支那南海岸一帶の在留日本人の爲め日夜盡瘁せる第三艦隊磐手は其の重任を果して愈々廿三日午後一時當地郵船虹口碼頭出港故國に凱旋の途についた、廿三日碼頭には當地中部北部兩日本小學校生徒約二百名海軍特別陸戰隊大使館員、總領事館員、居留民團及び一般在留民の盛大な見送りがあつた

馬に蹴られ 滿人轢かれる

二十三日午後三時頃新京鐵道北爲砂町三丁目益發號油房内居住本籍河北省生れ荷馬車夫張萬仁（三三）が油を荷馬車に滿載して同町を南に向ひ進むうち一見飲食店の出前持風の滿人が自轉車に乘つて並行して過つて自轉車を馬の脚にぶつけたので馬は驚いて自轉車諸共件の男を跳ね飛ばし荷馬車の下敷となり肋骨四枚を折り直ちに滿鐵醫院にて應急手當を加へたが間もなく死亡した加害者は本署に逆行嚴重取調べ中

邊境熱河の 通信網擴充へ

電々會社承德地方局新設

【承德國通】電々會社にては過般の職制改革に依り熱河省内及興安西省の一部の有線無線電話並に放送無線電話の管理と同區域内の電報、電話局所の監督指導の爲に承德地方局を新設することに決定し局長は承德電報電話局長古坂健造氏を兼任せしめ、大連、奉天より先般來局員多數着任し着々之れが準備中であつたが略完了したので去る十月十六日開局式を擧行し即日より事務を開始してゐるが、これは要するに從來の三管理局外に新京、チチハルに管理局を承德に地方局を設置し如上の事務は勿論全般的事務の圓滿遂行を期せんとするものであるが右に依り邊境熱河の通信網も格段の擴充を見るものと期待されてゐる

出でよ！滿洲勝太郎

躍進國都に捧ぐる文化塔

本社 放送新人募集 近く具体案を發表

展けゆく新京の偉容は市民の大きな喜びである、やがて躍進滿洲國の國都として世界に誇る近代都市「新京」の完成される日も近いが、たゞ今の新京に缺けたものは

文化 であり市民の慰安である、政治經濟都市として飛躍的な發展を遂げつゝある國都建設も建國匆々の情勢のため文化建設は顧みられないといふ傾きを持つてゐた、建國此處に四星霜治安工作の一段落も近く新國家の力は當然新文化の建設に注がれなければならない、最近在滿邦人の心境も多分に落ちつきを見せ所謂植民地的氣風は滿洲の新天地から失はれつゝあることは滿洲國の多幸な將來を約束するものであるこの

安定 した生活感情はやがて心の慰安を求めることによつて安居樂業の社會を築きあげるものである、新京は新京の文化を、市民の演藝を求めてゐる、新京放送局では創設以來ラジオを通じ新京文化建設と市民の慰安のため多大な努力を續けて來たが文化のバロメーターともいふべき國都の演藝は未だ見るべきものがない、本社はこゝに放送局と協力して新京演藝界の發展に貢獻し市民の慰安を計るため廣く一般市民より演藝放送の

新人 を募ることゝなつた、和樂、洋樂、浪花節、俚謠、漫談等演藝一般に隱れたる新人の登場を期待する、出でよ新京の市民藝術家！なほ第一回募集規定は一兩日中に發表する

治外法權撤廢後の 教育、課税問題協議

廿六日から全滿民會長聯合會

來る二十六日午前十時から市内朝日通り新京居留民會々議室において全滿居留民會長聯合會が開催される　議題は治外法權撤廢後における邦人教育問題並びに課税に關する件で當日は全滿各地の民會長集り同問題に就いて各地民會長から各種の意見が述べられるものと觀られてゐる

日埃通商條約 改訂交涉開始さる

【カイロ廿二日發國通】日埃通商條約改訂會商は廿二日午前十時からエヂプト財務省で開會帝國政府からは笠間、天城兩代表出席しエヂプト政府からはアブデル・ワハフ・パシャ藏相其他が代表として出席した、開會と共に藏相は日本代表歡迎の挨拶を述べ

一、エヂプト政府としては國内産業保護の見地から日本政府との通商條約を廢棄するの外なきに至つたことは日埃兩國親善上極めて遺憾に思ふ次第である

一、國際貿易新情勢に適應した公正妥當なる協定案を締結し日埃兩國間の通商關係に新時期を劃したい

旨强調した　次で笠間公使立つて答辭を述べエヂプト政府の歡迎に謝意を述べ、我國としても貴國と同樣公正妥當なる通商協定の締結を希望する旨力說せる挨拶をなした　兩代表の挨拶後愈々討議に入り全般的意見交換をなし商議一時間十五分の後午前十一時十五分散會した、來る廿六日會議を續開して具體的討議に入る段取りである

女子教育機關の 青年學校女子部合併は不可

昨日 現地の意見一致

來年一月一日から開講される新京青年學校女子部に家事講習所及び家政女學校の兩生徒を纏めて入所さして若し雙方の趣旨を達し得ることとなら經費の合理化、校舍の緩和が出來るのではないかとの滿鐵本社の意嚮を質し現地における關係者の意見を徵すべく二十三日來京した滿鐵本社社會係兒橋芳造、業務改善班柏原一馬の兩氏を交へ同日午後一時から地方事務所々長室において懇談會があつた、現地の出席者は野村社會主事外係員、辻、本多新舊青年學校長、上原家政女學校長、猶富、中尾兩家事講習所講師など、女性教育機關不足の今日、家事講習所、家政女學校並びに青年學校女子部の趣旨目的を根本的に異にするこれ等を合併するなど問題が問題だけに各當事者は勿論生徒、父兄その他一般市民にも相當重大視されてゐるが當日の懇談會では上原校長、社會係員その他各員から議論百出結局本社の意嚮も尤もな事であるが實際においては實施するまでには大いに研究の餘地ありと意見一致した

馬車の忘れ物

首都乘用馬車人力車營業組合事務所取扱の馬車内忘れ物左の如し

二十一日新京驛前小型活動寫眞機一台、婦人手提袋一個大經路警察署保管、二十一日長春座前藍色風呂敷包一ヶ同

村上部隊 合流匪潰滅 望月一等兵戰死

【奉天國通】廿二日午前十一時頃安奉線鷄冠山驛南方に數十名の匪賊出現せりとの報に村上討伐隊はモーターカーにて直ちに出動、四臺子驛南方二粁の地點に於て匪首五龍、王金芝の合流匪七八十名と遭遇、之を潰走せしめたがこの戰鬪に於て一等兵望月友重（東京府出身）は頭部に貫通銃創を受け戰死、一等兵森田五三は重傷を負ふた、敵の遺棄死體數十名

羅津築港完成控へ

運輸關係方面の準備成る

【奉天國通】羅津港の完成並に雄羅線の開通により日本向け北滿特産物は羅津を中心に輸出せられることとなり商船、近海郵船、朝鮮郵船、北日本汽船、東日本汽船等の同盟各會社では右に伴ふ配船變更を準備中であるが又鐵路總局北鮮鐵道管理局並に鮮鐵では新京、羅津間及び京城、羅津間直通列車の運轉を開始することに決定し近く協議會を開き十二月一日より實施する模樣である

興京縣附近の 匪團潰滅へ

【奉天國通】三毛部隊司令部入電、岩永部隊大鹽○隊は廿二日興京縣西南方黄豪子溝に於て金山好・美勝の合流匪約五十を攻擊四散せしめ、又新民部隊溫品○隊及び佐藤○隊は廿二日午前十時頃興京縣南部高地を占據晝食中の紅軍洪勝匪を急襲潰走せしめた敵の損害戰死三、負傷十四、捕虜三人質十を奪還した

滿鐵辭令

【大連國通】（廿三日附）

水道調査所工務課長兼地方部工事課給水係主任　技師　中島洋吉
免兼務
地方部工事課土木工事係主任
命給水係主任　技師　河野要三
任地方部工事課一般土木係主任　技師　小味淵肇
任土木工事係主任
食堂車營業所支配人　事務員　三好重政
命鐵道部勤務
通山關驛長　事務員　小袋半藏
命撫順驛長
蘇家屯驛助役　事務員　稻森彦衛門
命蛤蟆塘驛長　事務員　小出啓法
命通山關驛長
星ヶ浦大和ホテル支配人　事務員　田中芬
命大連星ヶ浦旅順各大和ホテル支配人
旅順大和ホテル支配人
命奉天大和ホテル支配人
筑紫館支配人
大連大和ホテル支配人　事務員　木暮寅
命新京大和ホテル支配人
奉天大和ホテル支配人　事務員　河原久一郎
命食堂車營業所支配人　參事　寺澤當叡
撫順驛長　事務員　安田新造
命食堂車營業所副支配人
新京大和ホテル支配人　事務員　千葉千代吉
命鐵路總局勤務

燃料液化委

第二回委員會終る

【大連國通】陸海軍及び滿鐵が共同して組織せる第二回燃料液化委員會第二回會議は廿三日午前九時半より社員クラブに於て開催、木村委員長以下各委員出席の下に第一日に引續き技術的討議を行ひ綜合會議を終了、出席者は直ちにヤマトホテルの午餐會に出席した、尙ほ第二回委員會はこれで終了するが次回委員會の開催期日は未定である

三橋警部夫人 男子出生

女子ばかりでいさゝか腐つてゐた新京署兵事係主任三橋警部の夫人は二十三日午後珠のやうな男兒を分娩母子ともに健全であると

故藤森翁の 告別式盛儀

國道建設局事務官藤森圓郷氏嚴父故藤森茂一郎翁の告別式は二十三日午後四時から曙町大正寺で執り行はれたが阮文教部大臣、田邊滿洲國參議を始め各方面の人々數百名參列遠藤總務廳長、山内電々總裁其他多數の弔電を披露し、極めて盛儀であつた、遺髪は當分藤森氏宅に置き後日郷里山梨で本葬を營むはず

きのふ午後矢田參議、車を某書店の前にとどめてつかつか（例の頭をひからせながら）店内へ…記者慌てゝ後を追ふと、雜誌の所をじろりと一瞥して、それから奥の方へ行き、「君、古事記はないかね？、岩波文庫のでもいいが」と尋ねて居られたです　國務多端の中にも、餘裕綽々といふ所でせう、その本屋には生憎く「古事記」がなかつたらしいが、そのあとどうされたかしら

鮮魚小賣相場（廿三日）

品名	相場
活鯛	一、四〇—六〇
カツオ	一六
ニベ	一八
イワシ	一五—八
ヒラメ	一八—一〇
カレイ	一〇—六
サハラ	三〇—二〇
スヽキ	一七—一〇
タコ	二六—二〇
イカ	四六—一八
エビ	六〇—四八
カ[illegible]コ	[illegible]—一六
ア[illegible]チ	三〇

愛よ戰ひとれ（六十二）

（劇上演 映畫化）

福田正夫

泉武八畫

騒擾（八）

「出來ねえつて……」

洋服男は目を怒らして、俊一をみつめた。

「生をいひなさんな」

「え？」

「こつちは玉を逃がしてゐるから、おとなしくしてゐるんだ。そとらにゐる男達やあ、みんなこの土地の腕つこきですぜ」

「君は脅迫するんだね」

俊一は怒りに身を慄はせた。

「僕は歸る！……自動車も待つてるんだ」

「もう返しましたぜ」

洋服男がいつた。

「返した？」

「えゝ、話の片が、明日にでもなりさうですからね」

彼は惡人らしかつた。——老人はそれより獅子の逃げたことを怒つてゐるらしく、その報復を俊一に求めてゐるやうに見えた。

「ふん！」

俊一が笑つた。

「僕は足があるんだ。どうしても歸るよ。……それに單に知合ひの僕が、あの人のために金まで出して、止められて質になる必要はないからな」

「なにッ、踏み倒すつもりか」

「默つて歸せば送つてやる！」

「いやだ」

老人がつゝかゝるやうに叫んだ。

「よせ！」

洋服男が默つてしまつたので、俊一は老人に向いた。

「そんな人情のないことをするな。ほんとならこつちが怒るところだ」

「な、なんだつて？」

老人は唇をゆがめてしまつた。

「太えことをいやがる！」

「どつちが太いんだ、若い女をとぢこめたりするのは酷くないのか？」

「時計をおいて、出て行け」

老人が立ち上つた。

「いやだ、歸つてから送つてやる……それでいゝ」

俊一は一座を見まはすと、ゆつくりと立ち上つて、外へ歩き出した。

「止めろ」

老人は自分でも跣足でとび下りてゐた。

男達の一人が、俊一をつかまへようとして太い腕を出したが、苦もなくはねのけられてよろ／＼とした。

「うぬ！」

老人がうしろから、かぶりついた。

「よせ！」

俊一はふり向いて蹴とばした。見かけはやさしかつたが、彼には中學時代からきたへつゞけた鐵腕があつた。老人は上り口に尻をついてうめいた。

「い、行かせるな」

「よし！」

男達が俊一をとり卷いた。

が、彼は一人のかゝつてくるのを、腰車で油障子にたゝきつけると、荒れ狂つた獸のやうに二人ほど組みついたのを引きづゝて、外に出て行かうとした。

男達も強かつた。

「待たねえか」

はじめにつかまへようとして、はねとばされた男が、いきなりとびかゝつて、俊一の肩を掴んだ。

彼は引き止められてうめいた。

「はなせ！」

拳が二つ三つ彼に落ちて來た。